



長野

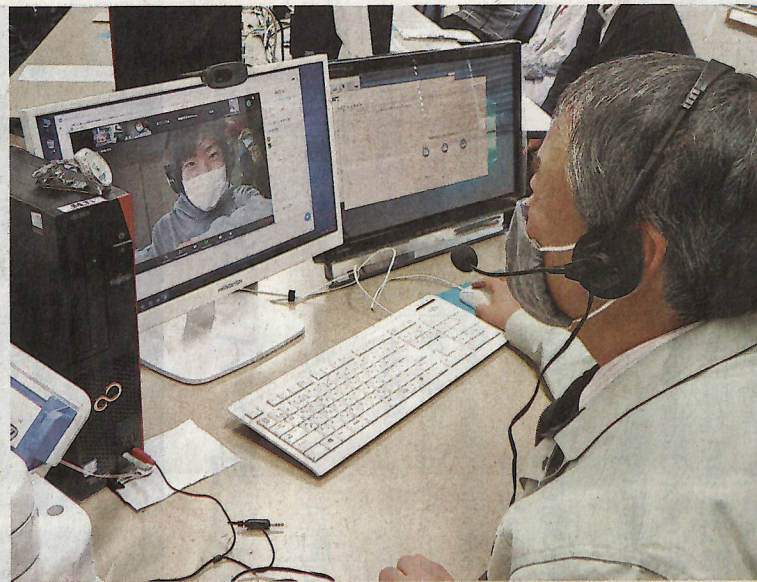
発行所 中日新聞社

名古屋市中区三の丸一丁目6番1号

〒460-8511 電話 052(201)8811

2020年(令和2年)

5月1日(金)



画面を通じて生徒とやりとりする竹内教諭＝駒ヶ根市の駒ヶ根工業高で

授業時間確保へ一歩

駒ヶ根工業高 話せてうれしいの声も

臨時休校が続く中で授業時間を確保しようと、駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市赤穂)は二十日、三年J組のソフトウェア技術の教科で、インターネット回線を利用したテレラーニングを

試みた。生徒のほぼ全員が参加し、教諭と対話しながら取り組んだ。

設定された授業時間になると、教科担任の竹内浩一教諭がのぞく画面に、次々と生徒が登場。クラス担任

の塩沢蒼教諭がホームルームをした上で、竹内教諭が休校前に教えた「二進数の正負」について振り返り、練習問題を解くよう促した。テレラーニングは初の試みで、予期せぬトラブルもあったものの、久しぶりに生徒の明るい声が教室に響いた。竹内教諭は「元気な声を聞けてうれしかった。この教科は必修だが、自習

は難しい。生徒が気兼ねなくネットに接続できる環境整備が必要」と話した。

生徒たちは「みんなと話せてうれしい」と喜ぶ一方、三年生だけに「休校がいつまで続くかわからず、将来的に進路がどうなるか心配」とも。塩沢教諭は「やりとりできるシステムをつまぐ使い、生徒の不安を取り除き、進路の実現に向かいたい」と思っていた。

(石川才子)